

サポートRST

令和3年7月15日発行
発行：相馬市教育委員会
作成担当：相馬市公立学校研究指導員会

7月5日（月）に行われました研究指導員会において、講師の目黒朋子先生をお招きして、RSTの視点における各学校の取組について情報共有が行われました。RSTの視点を取り入れた取組で共通していることとして、①従来の授業や教科書をRSTの視点で見直すこと、②学年や教科を越えた取組も効果的であること、が挙げられました。以下に実践事例をまとめましたので、参考にいただき、RSTの視点を意識した授業を実践してみることが大切です。

小学校の実践事例

◎ RS（リーディングスキル）を意識させる発問を工夫する。

各校の授業実践では、普段の授業からRSを意識させる発問が紹介されました。以下に例を示します。

「何が同じと書いてありますか。」（係り受け解析）

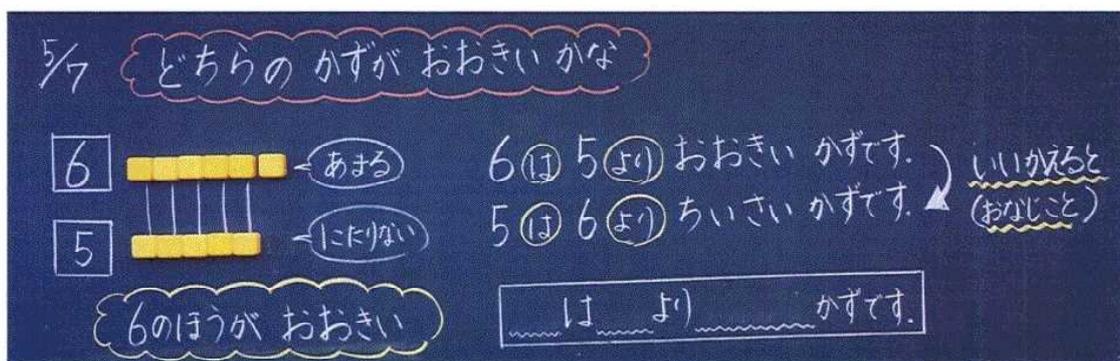
「言いかえるとどうなるかな。」（同義文判定）

「『その』が指すものはなんでしょう。」（照応解決）

「図で説明すると、どこのことですか？」（イメージ同定）

「『環境にやさしい肥料』とありますが、では『環境に悪い肥料』とはどういうことでしょう。」

→「環境にやさしい肥料」をよりくわしくははっきりさせるために、あえて逆の意味の言葉を考えさせる。（具体例同定）につながると考えられます。



〈中村第一小学校 1学年 算数科 板書記録より〉

◎ 子どもにとって親密度の低い言葉の意味を調べさせる。

◎ 授業の中で、子どもにとって意味が分かりにくい言葉が出てきた時にこそチャンスと捉えて、意識的にその言葉を取り上げ、全体で共有する。



授業の中でRSについて実践したことを、6つの視点を明確にして授業メモに記録しておけると素晴らしいですね。

中学校の実践事例

- ◎ 「係り受け解析」の取組
 - ・ 他教科の先生に教科書を読んでもらうことで、生徒がつまずきそうな語句（親密度の低い言葉）を確認する。
 - ・ 教科書の本文を丁寧に読ませ、選択形式の問いによるクイズを行い、用語の理解を確認する。
 - ・ 問題文を読み、解答の手がかりとなる文に下線をひいて、文章を整理する。
- ◎ 「照応解析」の取組
 - ・ 発問によって代名詞が指しているものを確認する。
- ◎ 「同義文判定」の取組
 - ・ 生徒が記述式問題の相互採点を行う。
（活用力育成シート、全国学力・学習状況調査の活用）
- ◎ その他
 - ・ 新聞やコラムシートを活用した、音読や視写を行う。
 - ・ 学校だよりを活用する。（学校だよりの内容に基づくRSを問うクイズなど）
 - ・ 授業づくりワークシートを活用した、教師間でのRS Tの取組を共有する。

授業づくりワークシート			
教科	数学	教科書	東京書籍
小単元名	文字式の利用		ページ数 P83
本時の目標を達成するために おさえない言葉・内容		子供たちにとって親密度の 低い言葉	
<ul style="list-style-type: none"> ・自然数 ・3の倍数 ・整数 ・偶数 ・奇数 ・2の倍数 ・3の倍数 ・和 ・文字式 ・どんな数になるか 		<ul style="list-style-type: none"> →生徒にとって聞き慣れない・使い慣れない言葉 ・nの筆記体 x, y →筆記体？習っていないのでは？ ・nって何？ ・「数」ってなんて読む？「かず」「すう」 ・「数」の書き順は？「式」の書き順は？ ・問題の中にある「どんな数」 ・2つの続いた整数 ・mとしても同じように表せるよ。 →なぜ？ ・2けたの数 	



〈磯部中学校

数学科 授業作りワークシートの一部〉

新聞記事を活用した週末課題 ～教師の見取りの質を上げる意識を～

相馬市で取り組んでいる新聞記事を活用した週末課題について、いくつかの学校からRS Tの視点からの取組が紹介されました。子どもが書いてきた要約や感想に対して、教師がどうコメントするか。日記のコメントのように内容に共感するだけでなく、要約の仕方や感想の書き方に対しても意識してコメントすることで、子どもが言葉をより意識し、読解力の向上につながるのではないかと思います。講師の目黒朋子先生からも「教師の見取りの質を上げる必要がある。そのことで子どもの力が伸びる」とのお話をいただきました。

例えば……

- ・ 主語と述語の関係が正しく記述されているか。係り受けが正しくなっているか。
- ・ 「て」「に」「を」「は」が正しく使われているか。
- ・ 感想が「～がわかった」だけで終わっていないか。読み手を意識して書かれているか。
- ・ 感想の理由や根拠ははっきりしているか。一方的な見方だけで終わっていないか。

各学校でも、コメントの書き方を工夫してみてもいいのではないでしょうか。